

第6時の詳細

○ モンシロチョウの体のつくりを観察する。

- ①モンシロチョウの体のつくりはどのようになっているかを観察しよう。
- ②まず、自分がイメージしたモンシロチョウを描いてみる。
- ③描いたものをグループの中で説明し、相違点を交流する。
- ④羽化した成虫の体のつくりを虫眼鏡等で観察しながら、自分が描いたチョウの絵と比べ、正しいつくりを知る。

ワークシートは
こちら

CLICK

ねらいについて

- ・ 自分がイメージしているモンシロチョウを描き、実際に体のつくりを意識して観察したときの違いから、正しい体のつくりを理解させることがねらいである。

観察方法等について



- ・ これまで観察してきたモンシロチョウを何も見ずにイメージで描かせる。このときに描きにくいところや曖昧な部分に気付かせ、特によく見なければならぬ部分、つまり、「観察の視点」をとらえさせる。
- ・ グループで交流することで、それぞれの知識から改善点や相違点を出させ、そのことを「観察の視点」としてとらえさせる。
- ・ イメージ図と比べながら、本物を観察し、ワークシートに絵や文で記録する。
- ・ 比べて気付いたことや分かったことをワークシートに書き、モンシロチョウの体のつくりについてまとめさせる。
- ・ 気付いたことや分かったことを交流する。

- ◆ モンシロチョウをじっくり観察するために、しばらくの間なら、チャック付きのビニール袋などに入れ動きを止めておくと観察しやすい。

「活用」の力を育てるために

- ・ 素朴概念を出させ、あえて曖昧な点に「気付く」場面を設定することが、観察の視点を明確にし、児童が考えを修正する方法となる。ここでは、観察によって自分が先に描いた絵との違いに気づき、チョウの体の分割や足の本数や付き方、触覚や目の位置、口の形などを自ら修正することで、昆虫の体のつくりについて正しく理解できるようにする。

本時の流れへ

単元の流れへ